

連合新潟 2022 春季生活闘争方針の概要

スローガン「未来をつくる。みんなで作る。」

【概要】

- 2022 春季生活闘争の意義と基本スタンスは、ウイルス禍であっても「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけ、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みをより強力に推し進めていき、働き方の改善などとセットで経済を自律的な回復軌道にのせようというもの。
 - ・経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を積極的に求めるとともに、5年後、10年後の未来の姿を描き、そこに到達する道筋を考えていく「未来づくり春闘」を展開していく。
 - ・雇用の確保を大前提に、それぞれの状況の違いを理解しながら、すべての組合が月例賃金の改善にこだわって賃上げに取り組むことを基本に据え、賃上げの流れを加速させる。
 - ・また連合傘下の組合員だけでなく、すべての働く仲間のためにも「みんなの春闘」を掲げ、社会全体の「底上げ」をはかる。
- 「賃金要求」について、実質賃金の長期低下傾向を反転させるには、賃金水準を意識しながら全体で継続的に賃上げに取り組む必要がある。傷んだ労働条件を回復させ「人への投資」を積極的に行うことこそ、経済の好循環を起動させ、経済を自律的な回復軌道にのせていくカギになる。
 - ・賃上げの水準は、賃上げ分（ベースアップ分）2%程度と、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）...を含め、4%程度の賃上げを目安とする。なおベースアップ要求は2014年から9年連続となる。
 - ・賃金実態が把握できないなどの事情がある場合は、4,500円（連合賃金実態調査の集計での1年・1歳差）を定期昇給分として、そこに連合加盟組合平均賃金水準（約300,000円）の2%相当額6,000円を賃上げ分（ベースアップ）としてプラスし、10,500円以上を目安に賃金の引き上げを求める。
※先行組合の回答のヤマ場は3月14日～18日となる予定。
 - ・有期・短時間・契約等で働く者の労働諸条件の向上と均等待遇・均衡待遇確保の観点から、企業内のすべての労働者を対象とした企業内最低賃金協定の締結をめざす。締結水準には、①最低到達水準として新潟県での最低限の生活を営むのに必要な賃金水準（連合リビングウェッジ）をクリアする時給1,000円をめざす。②すでにクリアしている加盟組合は時給1,150円以上をめざす。
- 「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善については、健康で働き続けられる労働時間やワーク・ライフ・バランス社会の実現、また個人の状況やニーズにあった働き方と処遇のあり方など、総体的な検討と協議を行う。
 - ・長時間労働を是正し、豊かで社会的責任を果たしうる生活時間の確保と、安全で健康に働きながら、持てる能力を最大限に発揮できる労働時間の実現を追求していく。
 - ・年次有給休暇取得促進を推進し、計画的付与の導入などの方策について労使間で協議を行う。
 - ・職場における均等・待遇実現にむけて、有期・短時間・契約等労働者の労働条件を確認し、正規雇用労働者との間に不合理な待遇差がある場合は、是正に取り組む
 - ・疾病などを抱える労働者、育児・介護中の労働者、障がい者など、働きづらさを抱える労働者の個別性に配慮した雇用環境の整備に取り組む。
- ジェンダー平等・多様性の推進について、性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態など、様々な違いを持った人々がお互いを認め合い、やりがいをもって、ともに働き続けられる職場を実現するため、あらゆるハラスメント対策や差別禁止に取り組む。また、ジェンダーバイアス（無意識を含む性差別的な偏見）や固定的性別役割分担意識を払しょくし、仕事と生活の調和をはかるため、すべての労働者が仕事に関わる両立支援制度を利用できる環境整備を進める。

《問い合わせ先》

連合新潟 副事務局長 桑原 典子 TEL：025-281-7555